

2022年
2月号

Anger



コロナとおやつと子ども達

毎日毎日、大阪府のコロナ感染者数とにらめっこし、ため息をつく日々を過ごしています。保護者の皆さまには、学校からの連絡をすぐさま教えていただき、ありがとうございます。どの学校からも直接連絡はなく、みなさまからの連絡でどの学校がどのような状態なのかを把握することができています。感謝いたします。

1月25日から急遽おやつの提供を中止しました。おやつを楽しみにしている子はたくさんおり、送迎で遅くなりお腹が空いてイライラするのではないかなど職員の間でも色々悩みましたが、マスクを外して過ごす時間を少しでも減らし、感染リスクを無くすために実施しました。保護者の中には何度も「おやつおしまい」「おやつないよ!」と念押しして学校に送り出してくださった方もいらっしゃるそうです。殆どの子どもはすんなり受け入れてくれましたが、数人の子はお茶を飲む間、いつになったらおやつが出てくるのか泣きながら訴える子もいました。幸いにも、次の日には受け入れてくれました。少しでもおやつの再開を楽しみに待ってもらうために好きなおやつを聞いて揃えておいたり、前もって準備したものを見せるなどしています。

令和2年12月下旬に初めて Ange から陽性者が出た時は、まだ感染に対する私たちの知識も浅く、殆どの指導員が濃厚接触者になり休業することになりました。当時と濃厚接触者の定義も変わって来ているので、その時々に合わせて対応を強化しています。

そして、その時にはマスクができなかった子ども達も、1年少し経つと殆どの子ども達がマスクをすることができるようになりました。感覚過敏や障害特性のためマスクができない方もいます。でも、Ange ではおやつの前や好きな活動の前に「マスクつけたらね」と、初めは口に当てるだけ、それから5秒、10秒と少しずつ伸ばしています。大好きなおやつが欲しいから頑張ったり、抱っこしてぐるぐる回してほしいから、その間は我慢したり（楽しいので、つけていることが苦痛にならなかつたりしているようです）それぞれのやり方で頑張っています。

これから WITH コロナの時代になったとしても、感染予防のためマスクは欠かせないものになると思います。「この時だけでも…」という時のために、少しずつ練習していこうと思います。「つけるのは嫌だけど、この肌触りのは好きみたいです」と、お子さんが気に入った感触のマスクを用意してくださる保護者もおられました。コロナが落ち着き、美味しいおやつが早く食べられるようになるためにも、みんなで一緒に楽しく感染対策ができたと思います。

郡 奈美

びん先生
自己紹介おねがいします!

新しいスタッフの紹介

こんにちは。せいびん 盛敏です。神戸大学人間発達環境学研究科の人間発達専攻博士後期課程を修了し、先月から Ange の仲間に入らせていただきました。緊張している中、子どもたちは私の手をずっとぎゅっと繋いでくれました。その時、私に安心感が湧いてきました。子どもたちが私を支えてくれました。これからこのような安心感がある信頼関係を作りながら、子どもたちとともに成長を喜びあえる関係作りを頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

2年に1度行っている実践報告会にてお世話になっている神戸大学の赤木先生からの紹介で Ange に勤務して頂くことになりました!



LINE 公式アカウントを開設いたしました

Ange・Ange west のライン公式アカウントを開設しました! 研修開催のお知らせなどを配信していますので是非、保護者以外の Ange に携わっているの方もご登録お願いします!

↓友達追加 QR ↓



初釜



やったー! お年玉嬉しい!

最後はみんなではい、チーズ!

お茶も順番に点てました。みんな上手にできたね!

今年の「初釜」はコロナウイルス感染症への対策を施しながら、例年より縮小しての開催となりました。来所したらずはお着替え。凛々しい袴姿と可愛い着物姿に記念写真もバッチリ決まっています。本来なら、亭主が点てたお抹茶を頂きますが今年は各自で毛氈に座ってお茶を点てます。茶道クラスで経験のある子どもは、綺麗な姿勢で茶筌を振っています。また、お抹茶の泡立ちが気になって茶筌でずーっと泡を触っている子ども等、皆さまもお茶を楽しんでいました。最後はお楽しみのお年玉。包みを開けて、大喜びの子ども達。早速身に着けていました。来年は例年どおりの初釜が開催できることを願っています。



STEP UP クラス

今年度も10月から性教育を行っています。今回で3回目。小学生高学年から高校生まで、同じような年齢の子ども達で、一度も受けていない子が沢山いる曜日を選んで、毎年行っています。今年は今までと違い、まだ学年が小さい子が多いので、例年よりも1つのテーマに時間をかけて行っています。

先日、複数回受けた事がある子どもの保護者にアンケートをお願いしました。丁寧に性教育の必要性を書いてくださった方や子どもがいい方向に変わってきた事を書いてくださった方もいました。日本は他国と比べると本当に遅れています。性教育を受ける権利は障がいがあってもなくても、世界で認められています。まだ受けられていない方で受けたい方は遠慮せずお申し出ください。



今回の避難訓練は、地震を想定して訓練をしました。「地震がきたらどうする?」など簡単なクイズを紙芝居で見ました。紙芝居を見てから「地震がきたらどうする?」と質問すると、「頭を守り安全な場所へ逃げる!」としっかり答える子もいました。実際に緊急地震速報を流し、机の下に隠れる練習もしました。そして今回は津波が来た事も想定し、豊中市立第一中学校へ実際に行き、子どもと一緒に「ここまで避難するよ」と確認しました。その他にも、避難所ではダンボールベッドや簡易トイレ、寝袋を使う時もあることを伝え実際に体験してみました。段ボールベッドと寝袋は子どもたちに人気で、好きな遊びの時間にもごろ〜んと横になっていました。

今回の避難訓練では、避難した後の生活も大切で、普段からダンボールベッドや寝袋、非常食を作って食べたりなど体験しておかないと改めて感じました。是非お家でも避難所ごっこしてみてください!

避難訓練ウィーク



座り心地はこんな感じなんだ!

みんな真剣に聞いてるね!